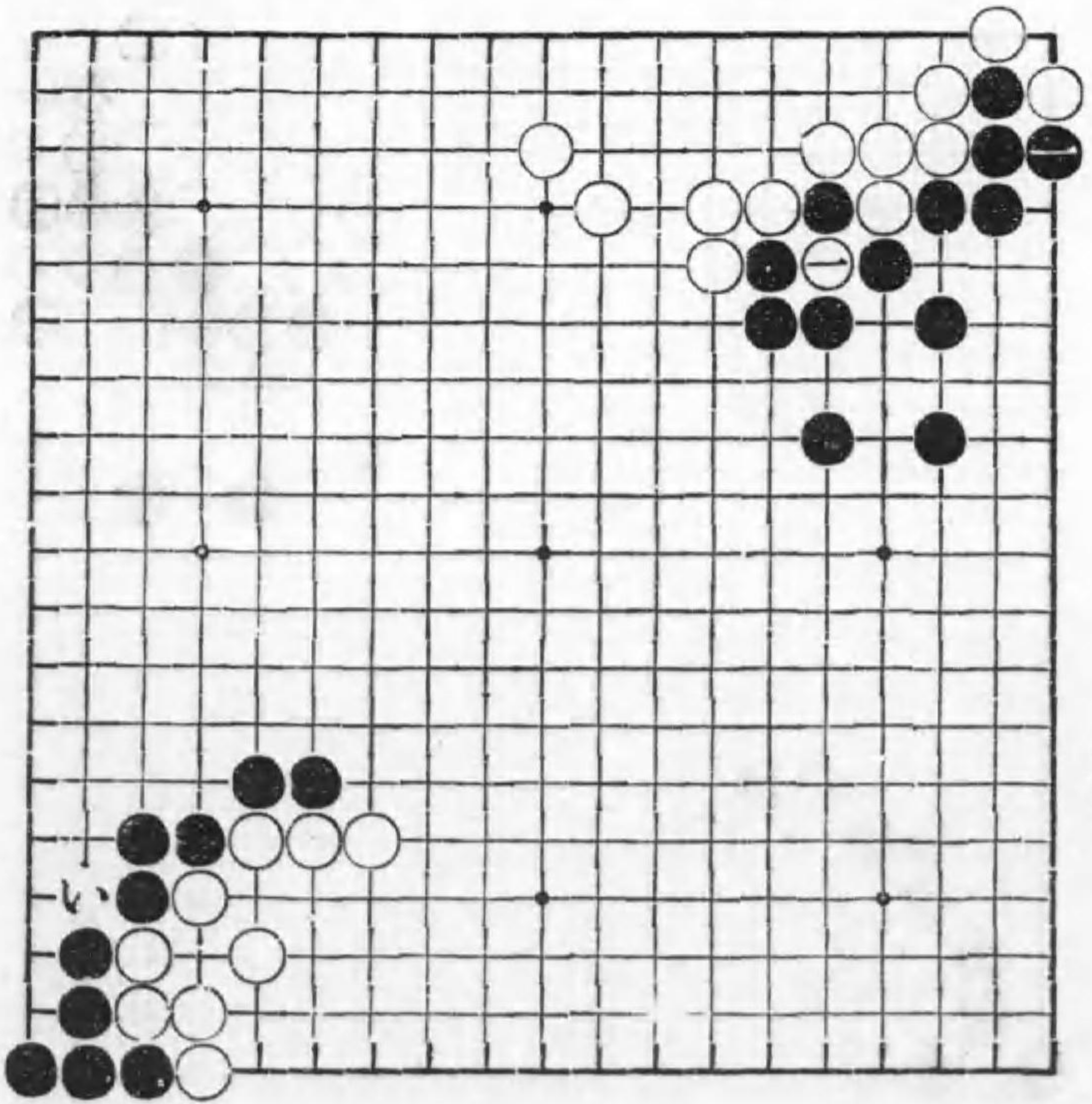


本圖は、前圖と併觀せられ度い。

前圖黒一に、白(イ)、黒(ロ)だと、本圖左下隅の様に、白(い)と劫立てが無い要するに前圖白二は以上劫立て作りの爲。

白一を半劫とは、其劫を勝つに二手で一目。の理。隅の黒一は三分三厘。即ち白丸白一子取りに三手。

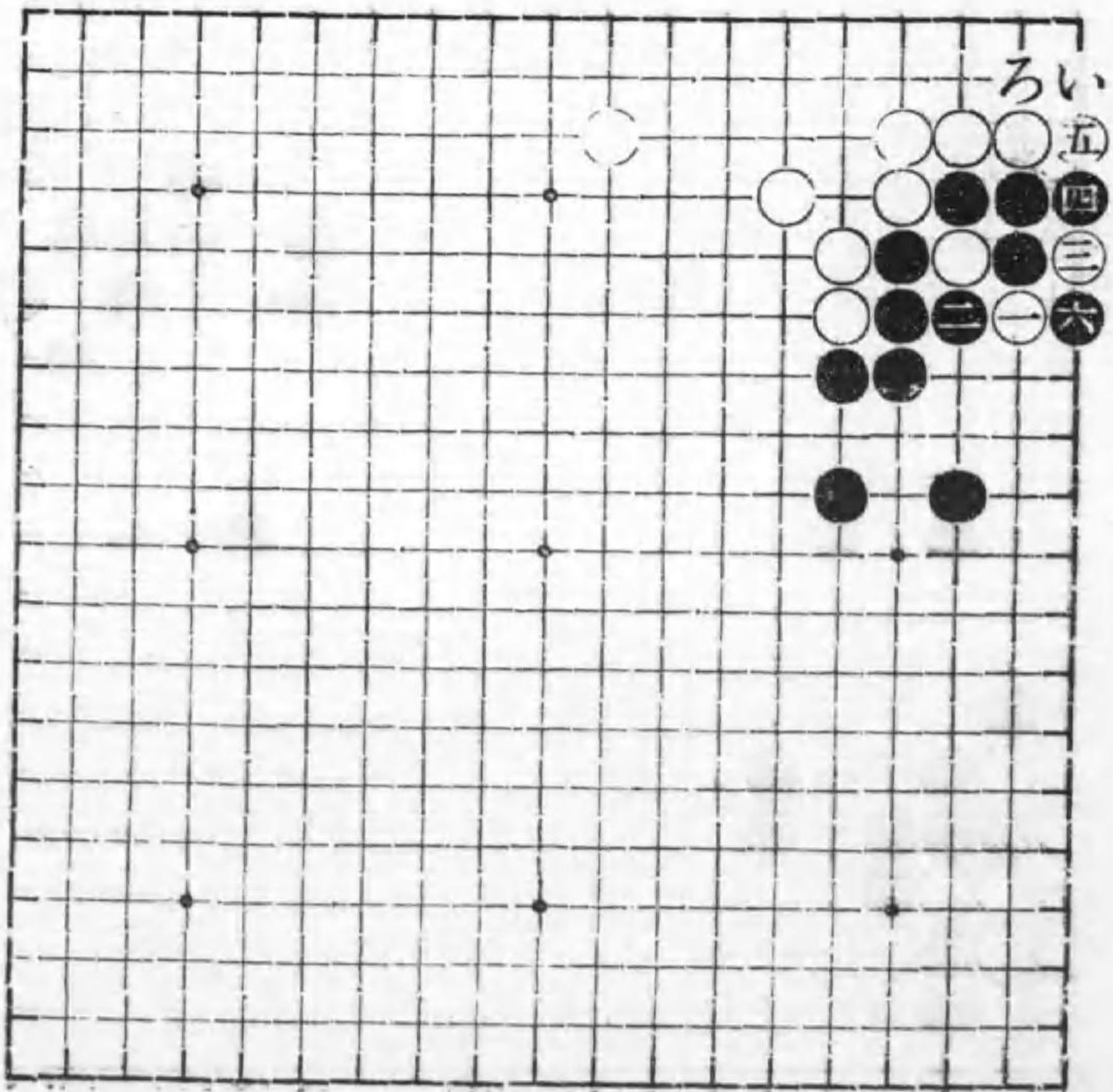


本圖は二目の利害であるそれが白一より黒六まで白先手二目得。

といふのは黒五、白(イ)黒四白(ろ)と黒から(イ)と(ろ)の、白地二目減らされ。

それは白五と成つた、前と見競べ、明瞭の事。

此れも二目勝敗等に大關係の、白一以下の侵分である。と解らう。



黒一白二は――

黒損である。黒一は(い)として――

白(ろ) 黒(は) 白(に)

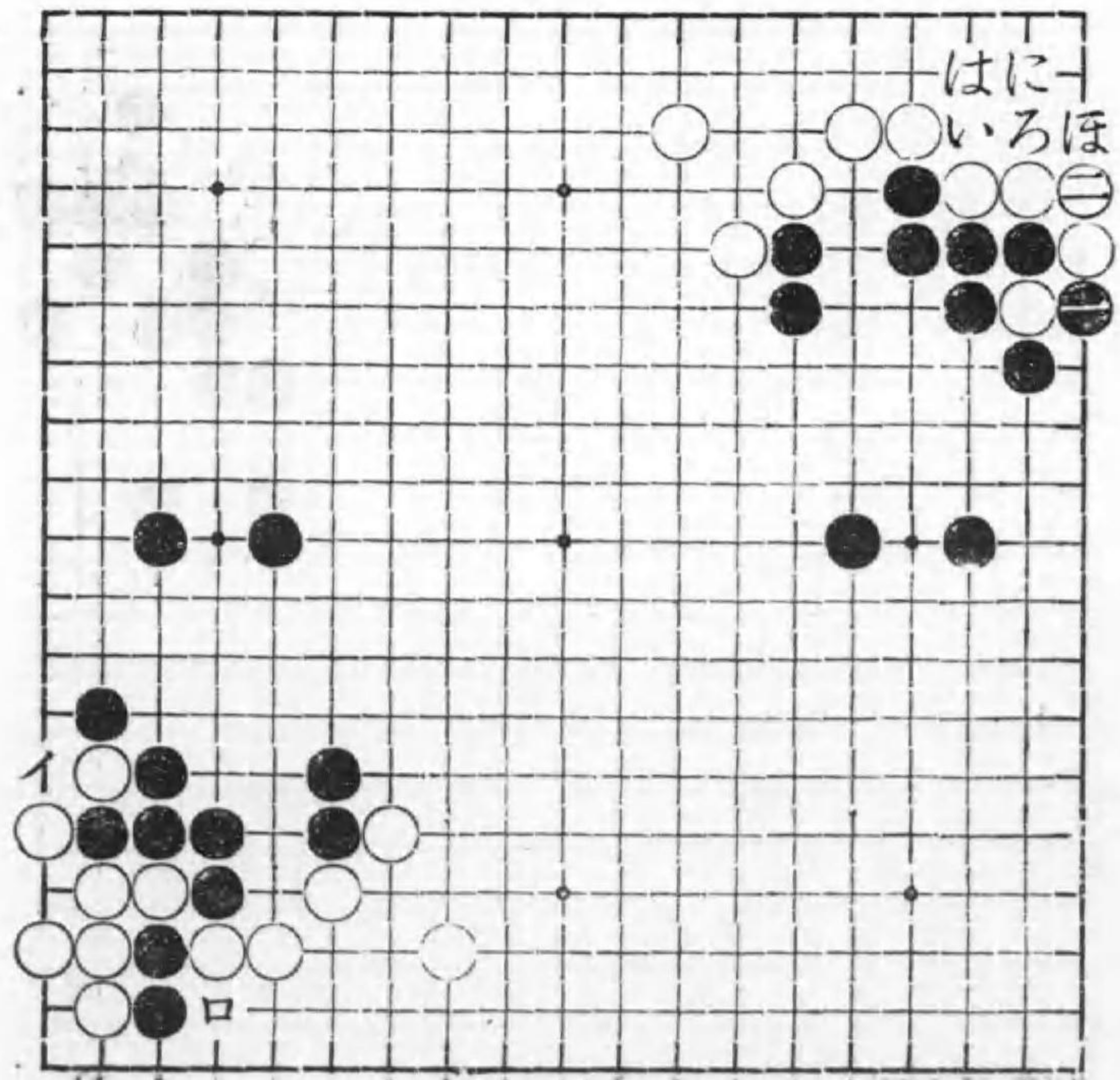
黒二――

次に白(ほ)。

だと、それが左下隅、黒手拔で、後に白(イ)とは粘げない――

から、白(ロ)と手入れ、

黒(イ)と取り。以上が右上隅黒一の損な事情。



白一と三は――

黒に三と下らせない、

白得の侵分である

そして白三は次に(い)と

飛付け、黒(ろ)とうけさせ

が伴い、幾目――

それは七目の手である。

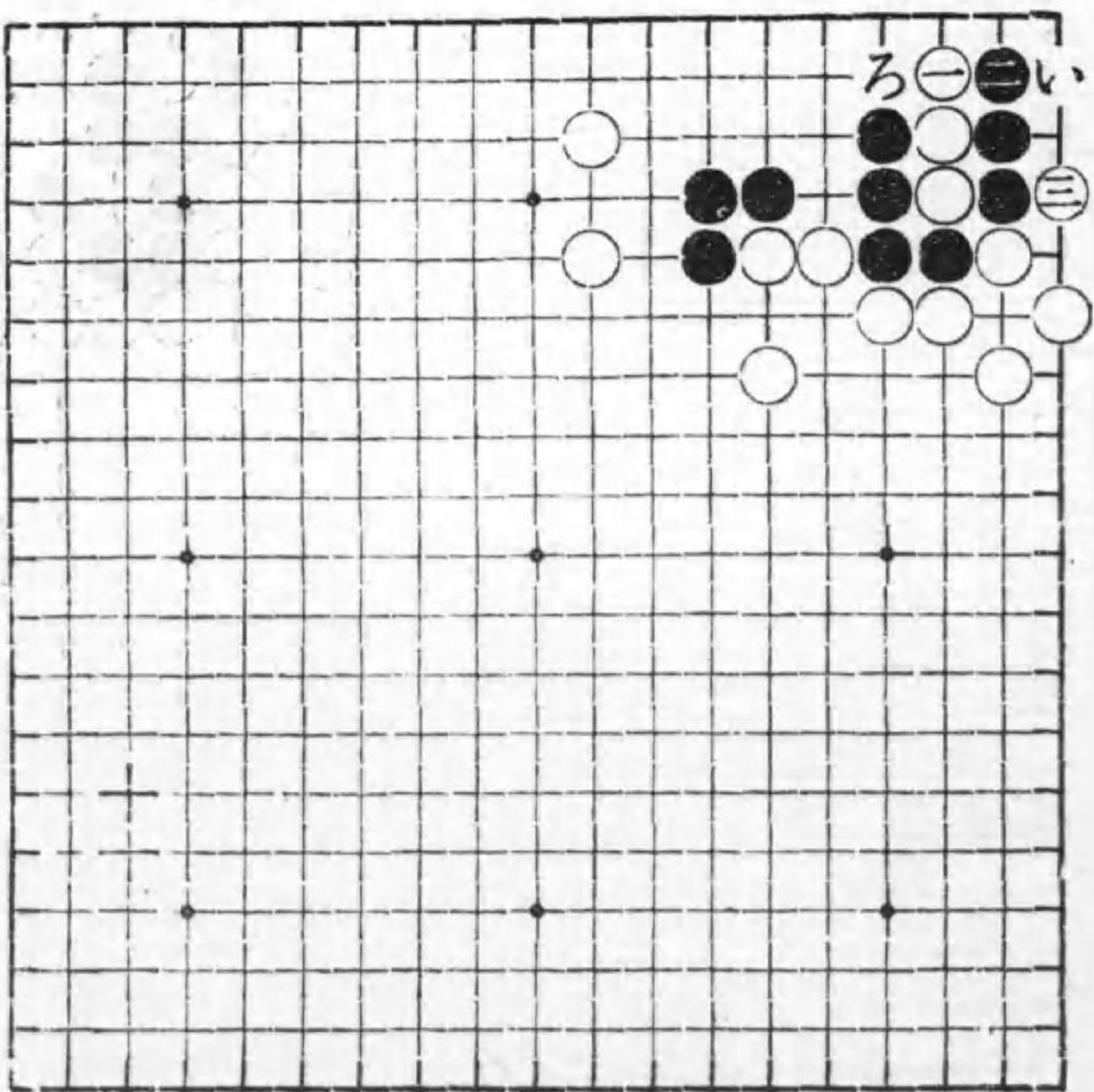
といつて白三に黒(い)は

白先手得、四目、先手四目

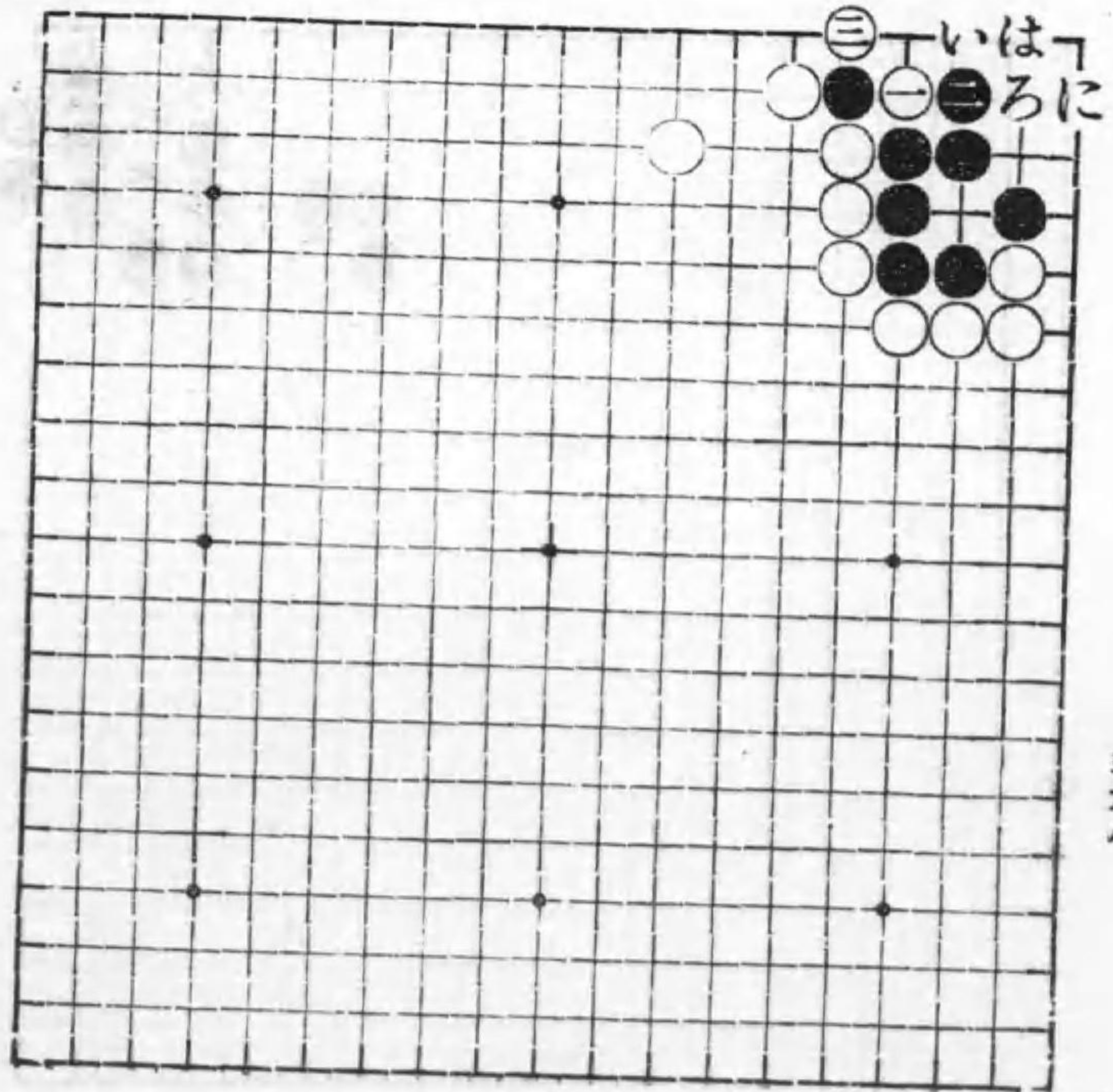
得は大きい。

其何目、何目も、自然に

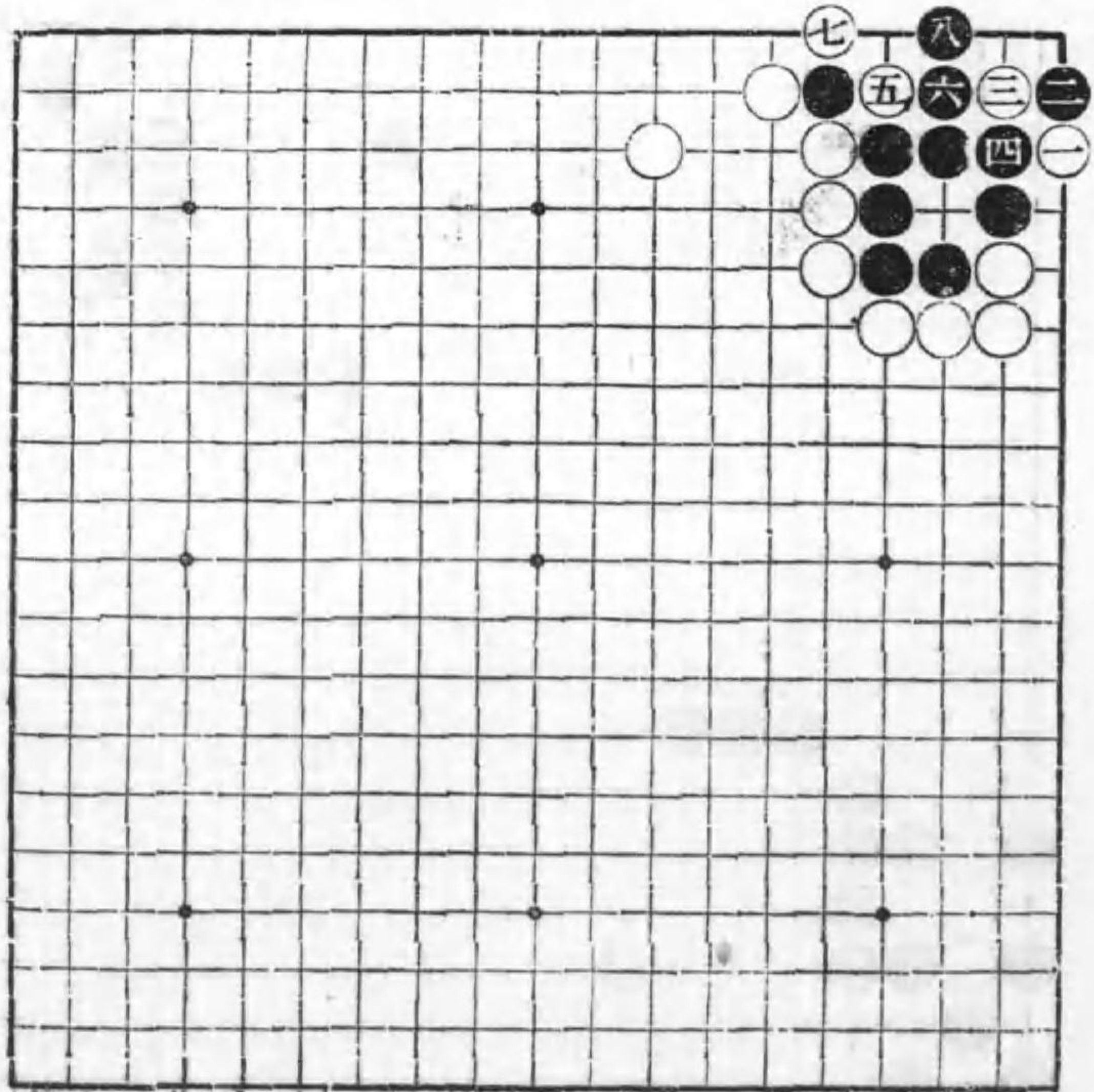
理解できる。



白一と三は——
 後に白(い)黒(ろ)なほ白
 (は)黒(に)。
 も伴いき大な侵分である
 が白一で——
 他に、より以上の名案は
 ないか。
 と白一の時、考えるので
 ある。
 即ち白先手で一より三ま
 で等。
 次圖を見られよ。

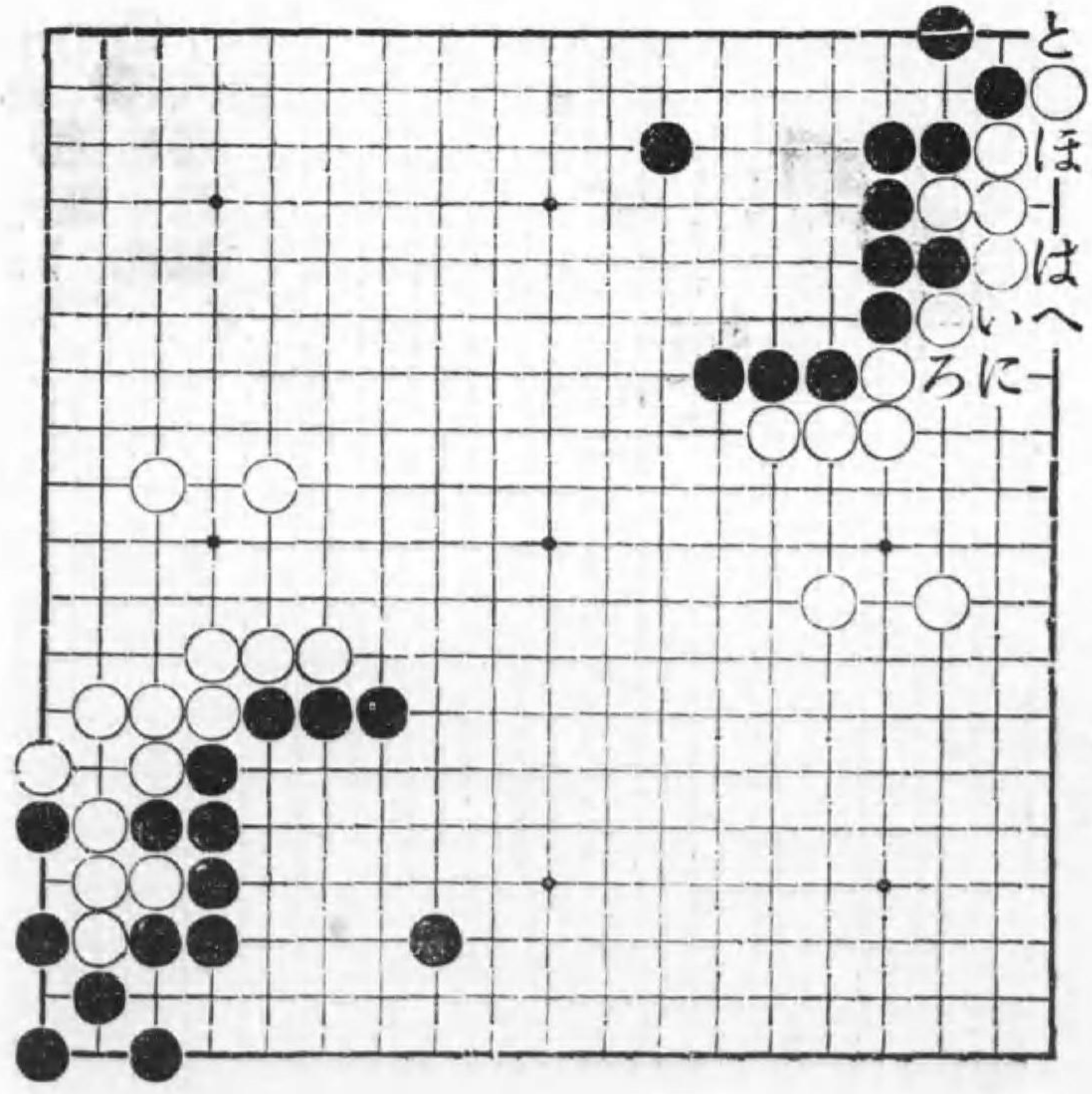


白一より黒八までは、白
 先手得、白巧妙の手順であ
 る。
 處で黒二を四なら、とい
 ふ疑念も起きやう——
 が白一に黒四は、既に白
 が得、そして——
 白五と七の黒一子取は考
 へもの。
 とは黒から五となつて、
 二と白に先手得も残るから
 である。



右上隅——

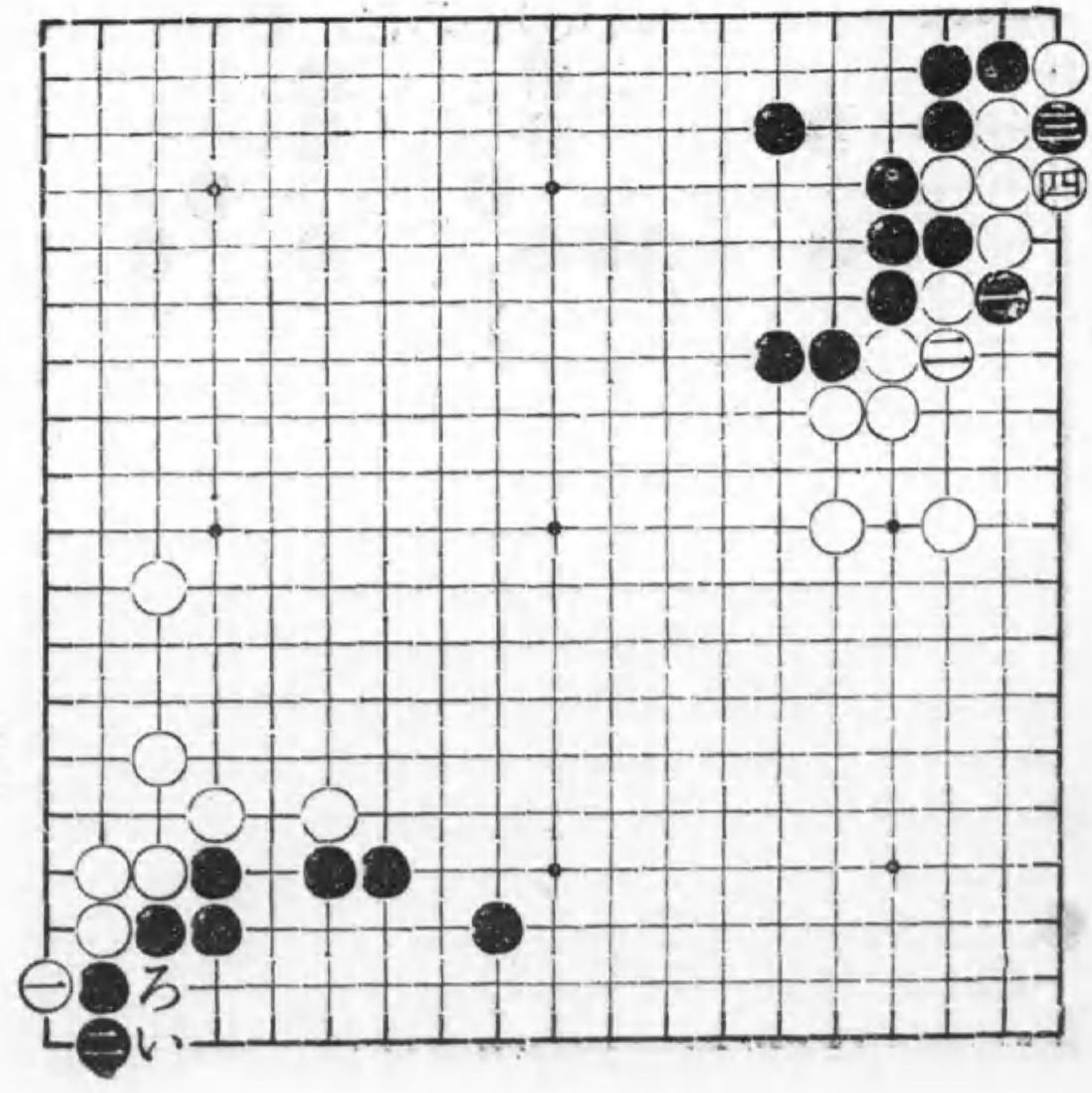
黒一は、後に黒(い)、白(ろ)黒(は)——
 に白(に)なら、黒(ほ)白(へ)黒(と)まで、即ち隅の白一子取りの、黒一である黒(と)までが見よい左下隅。
 戻つて黒(は)に白(ほ)なら、黒(と)で劫争。



六〇〇

左下隅——

白一に黒二を(い)だと、白劫立て多い時——
 白二で要するに(ろ)と黒は粘がされ、僅少でも黒損である。
 それで斯様な際には黒二が定法。と知られよ。
 右上隅黒一と三は、定法の侵分である。
 黒三を怠り白に三と、即ち得されるなどは黒の油断。



六〇一

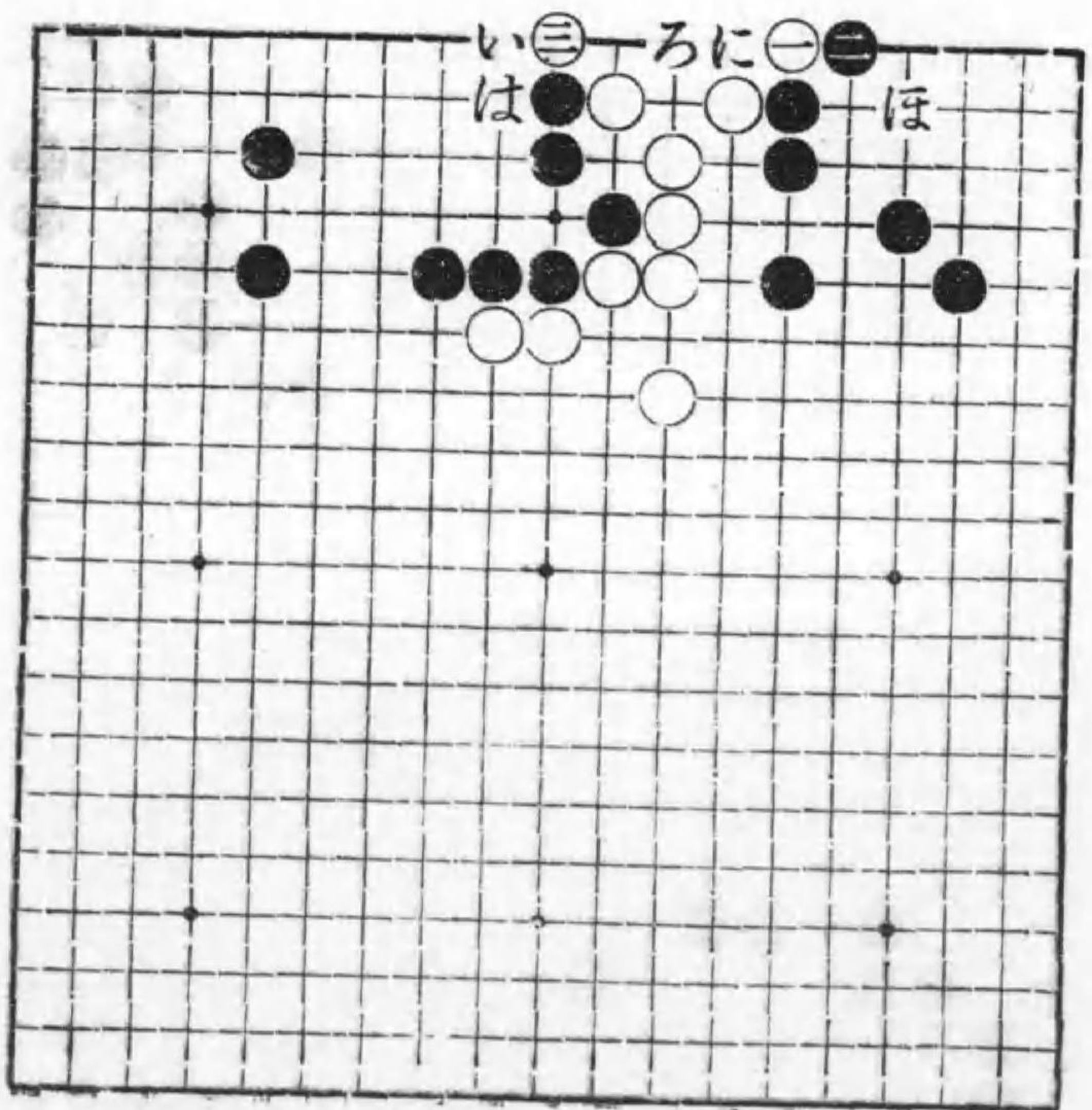
左右の黒地に白一と三。
に黒は困るのである。
次に黒(い)だと白(ろ)で
左右に劫。

その劫は黒に迷惑千萬。
であらう。

それで黒(い)は(は)と控
える他に無い。

それから白(に)黒(ほ)白
(す)といふ好手順の侵分。

白巧い。誰が讀てるやら
しらなす。



黒一白二黒三白四。

その侵分が黒好手順であ
る。黒一を三、白四。

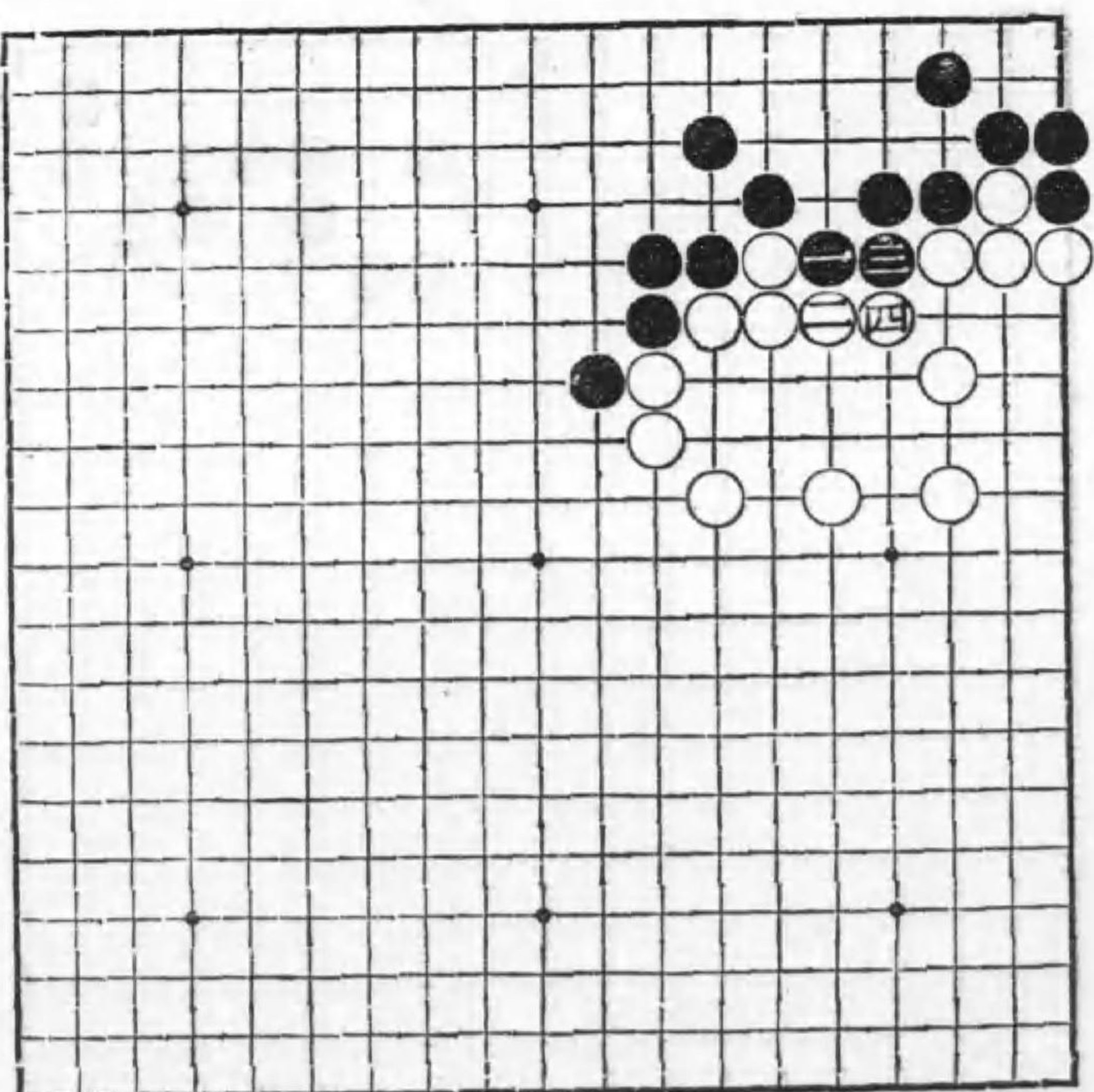
どういふ事か、その黒悪
手を多く見る。

圖の如く黒一より白四ま
で、それが出来れば初段と
よく言はれたもの。

然しそんなに六ヶ敷いも
のではない。

黒一を三、白四だと、後
に四目の手が残るのである

侵分



本圖

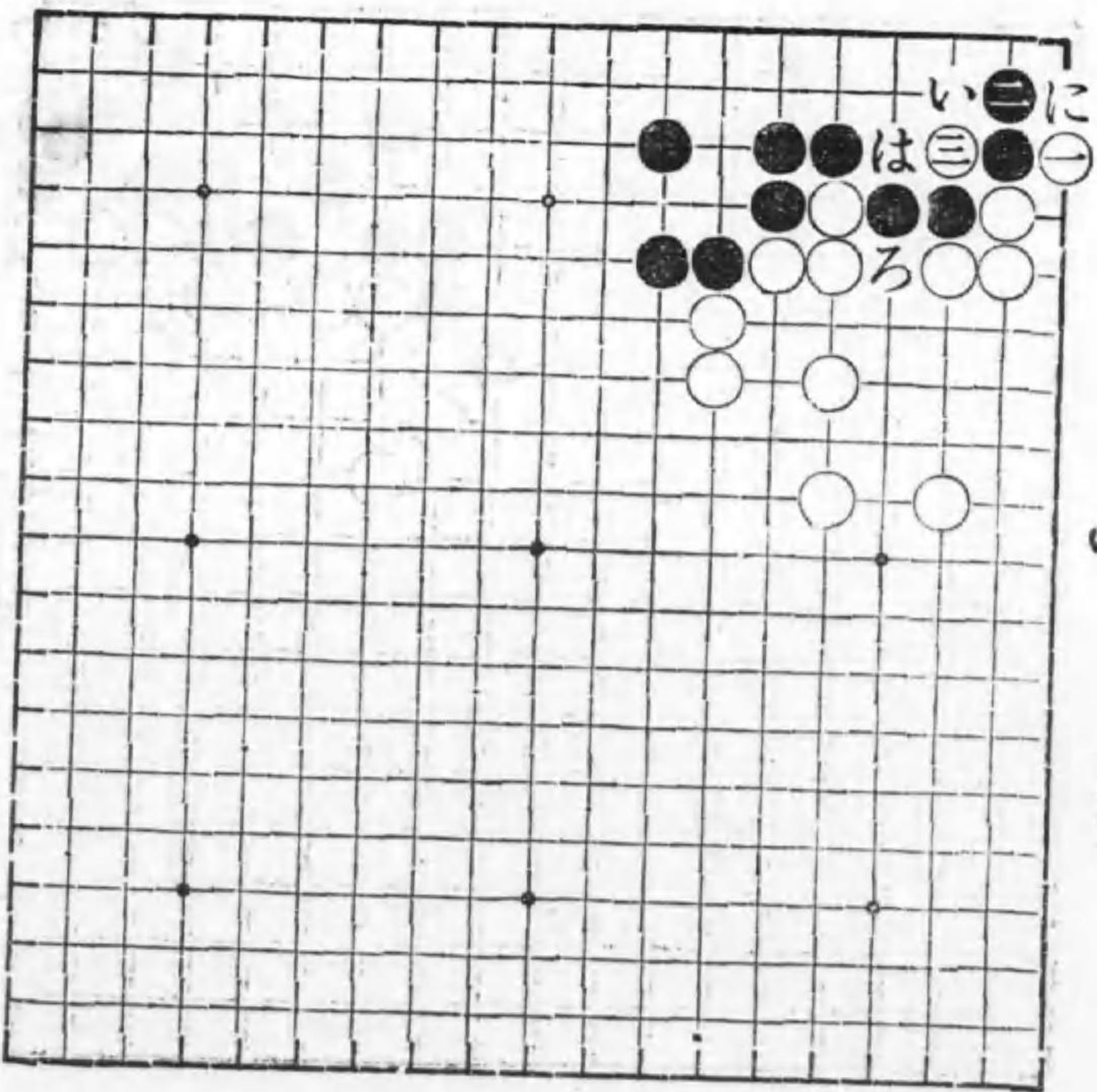
白一黒二として白三の要領なども初段の侵分といはれたもの。

次に黒(い)なら

白(ろ)黒(は)と、白に得また黒(い)を(は)なら、白(に)。

白一黒二で白手抜、そして後に黒(に)。

此れは白油断か拙いか。



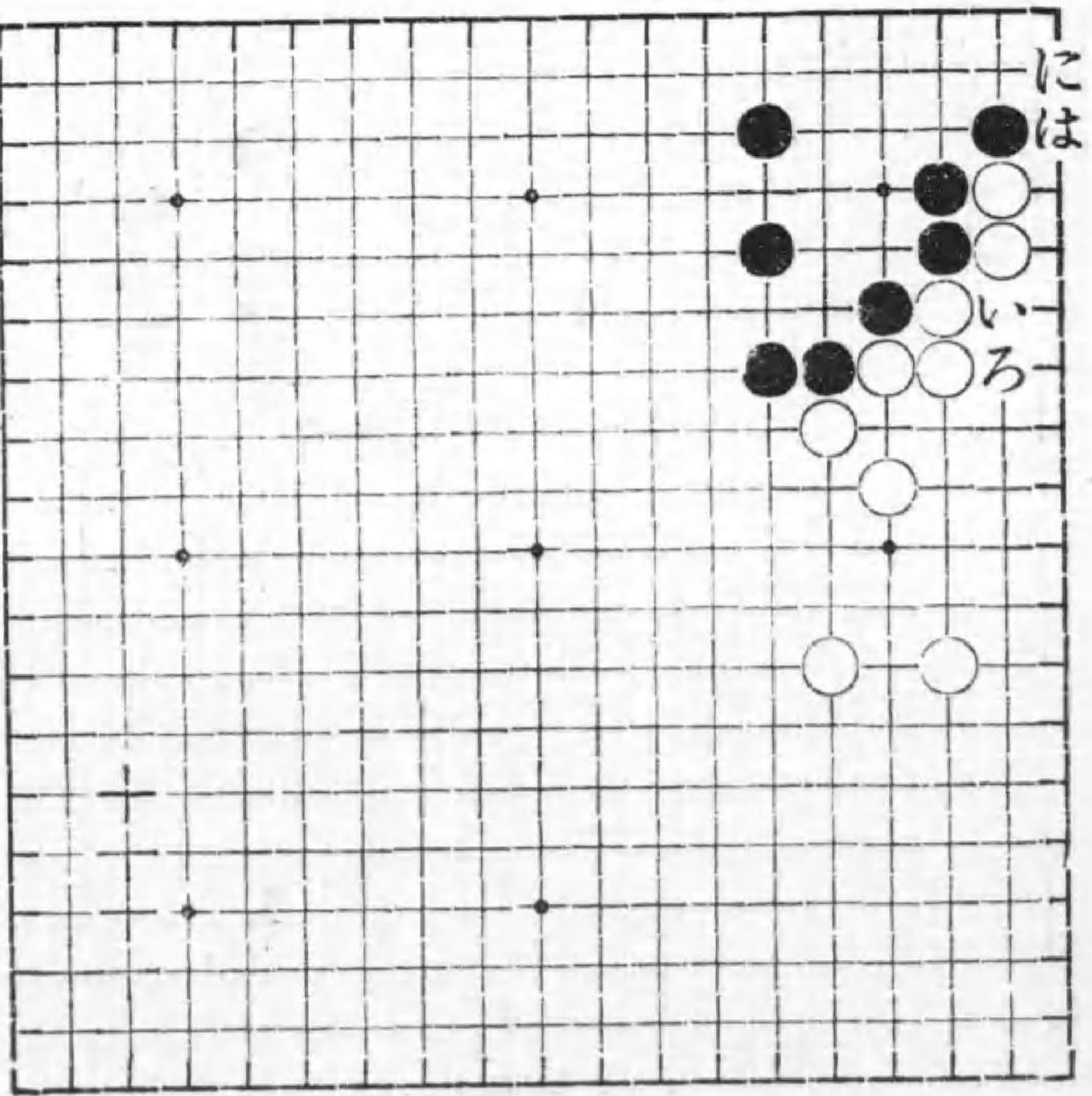
黒先なら黒(い)白(ろ)で黒他に轉じ。

それは白(は)に黒(に)と防げ。

黒(い)の要領がそれである。白(ろ)は

黒(ろ)と出られて白たまらないからである

白先なら白(は)。に黒次に(に)とは應じられない大危険である。此れも細碁の勝負所。

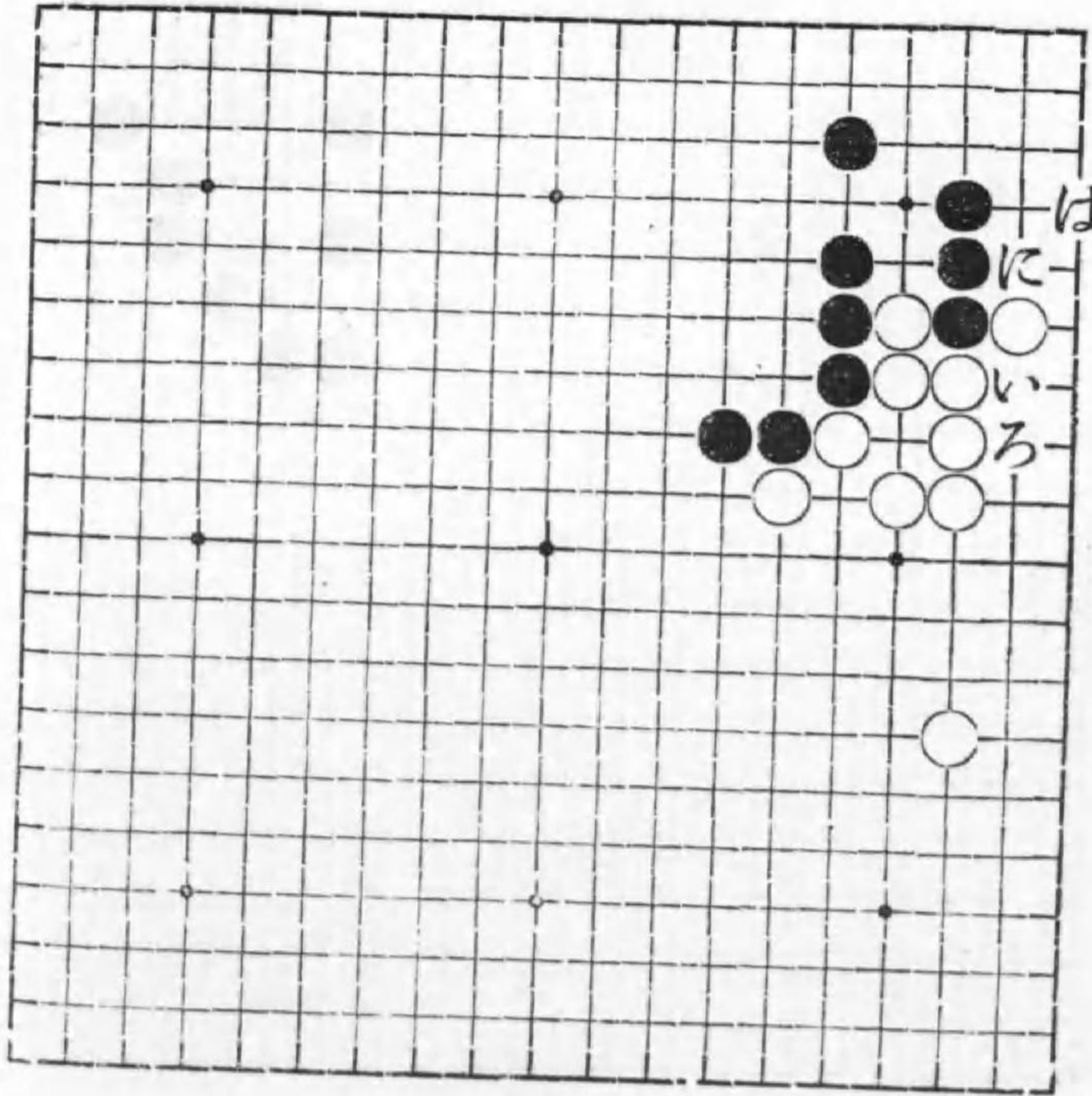


本圖も黒先黒(い)、次に白(ろ)。

即ち黒(い)の要領は、白先白(は)と走らせない位分である。

黒(い)を(に)だと、白に手拔をされる場合と見られよ。黒先黒(い)は、次に黒(ろ)と白地へ出られ、要するに――

黒(に)で白一子を取れ。巧い黒(い)の要領。



昭和十一年五月五日印刷
昭和十一年五月十日發行
昭和十一年七月十日再版印刷
昭和十一年七月十五日再版發行

圖解碁入門 奥付

定價貳圓卅錢

不許複製

著者 八段 高部道平

發行者 武藤平重郎
東京市淺草區小島町二ノ三一

印刷者 天野印刷所
東京市荒川區三河島町五ノ九三

東京市淺草區小島町二ノ三十一

發行所 金竜書店

電話淺草 三三五〇番
振替東京 一三三二番

終

